

五十嵐 敏夫 議員

答 緊急事態宣言や県をまたぐ移動制限の解除などの国や県の方針をもとに、イベント開催の是非や開催方法などについて検討し判断する。又、「南蔵王やまびこの森キャンプ場」は、感染予防対策を行い、7月上旬にオープンする計画である。

問 新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」解除後の交流人口拡大を目指した「南蔵王やまびこの森キャンプ場」オープンなど。既存観光事業の今後と町内各種行事やイベント開催の判断は。



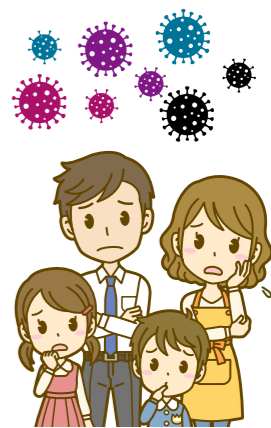
▲やまびこの森キャンプ場

問 感染が危惧される中、他町では成人式を来年に繰越し、満20歳と21歳で開催する案も出ているが、町では予定通り開催するのか。

答 幸い少人数であり、かつ、県内在住者がほとんどである為、第2波、第3波がない限り予定通り実施したい。

問 例年各地区にて開催される盆踊り大会や夏祭り、あくまで各地区の判断であるが、町として何らかの対応が必要では。

答 感染防止策を徹底しても、故郷に帰省する人を含めたイベントなので、区長会などで協議検討したい。



問 マスク着用が必須の中で、秋のスポーツ祭典「町民体育大会」開催の判断は。

答 まだ判断できないが、学校の休校に伴う授業時間数の関係もあり、今後のコロナ感染症の推移により判断したい。

問 本年4月より施行された、「第6次長期総合計画」の安心づくり対策は、「コロナ感染症から見直しなどの検討が必要では。

答 計画は始まったばかりなので、今後の感染症状況を見て判断したい。

問 コロナ感染症を踏まえた観光・行事開催判断は

答 感染症予防対策のもと適切な時期に判断する

問 今後の新型コロナウイルス感染症の医療体制は

答 医療機関や介護施設と連携し万全な予防対策を図りたい

問 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合、近くにPCR検査などの整った医療機関(病院)はあるのか。

答 現在、県のPCR検査医療機関は宮城県が管理し、県保健環境センター、仙台市衛生研究所及び県医師会健康センターとなっている。

問 コロナ感染症の疑いが出た場合、デイサービスや訪問看護にも影響を及ぼすと思われるが、その対策は。

答 従事する職員には、徹底した感染予防策と、できるだけ密接、密集を避けるよう指導している。

問 町内施設でマスク着用してない人もいるが、感染症の第2波、第3波に対する対策マニュアルを作り、早期に広報などで町民に知らせるべきでは。

答 第2波、第3波に対する町の防止策を区長会などでも説明し、住民に届くような方法を講じたい。



▲マスクと消毒液

問 発熱状態の場合、多くの町民は診療所に行き受診するが、現場で働く医療従事者の感染防護対策は。

答 診療所がクラスターにならないよう、医療スタッフは一般の人より徹底した予防対策を取っている。

問 今後の新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスク、消毒液、手袋、医薬品などの備蓄計画は。

答 マスク、消毒液、防護服など備蓄する方向で現在進めており、対策経費は前の臨時議会で計上している。尚、企業からいただいたマスクは1世帯当たり50枚ずつ配布する予定。

問 PCR検査機器が少ないうえ、仙南圏域内でも検査受診できる病院の可能性は。

答 厚生労働省から唾液検査も可能との情報が入っているので、大きな病院でも検査が受けられることを期待している。



吉田 修 議員